

令和 5 年 4 月 12 日

国立病院臨床検査技師協会

関信支部 支部長

吉田 茂久 殿

令和 4 年度 監査報告書

私たちは国立病院臨床検査技師協会関東信越支部規約第 17 条の規約に基づき、令和 4 年度(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)の国立病院臨床検査技師協会関信支部の会務活動ならびに会計の監査を行ったので次のとおり報告致します。

1. 監査方法の概要

- 1) 会務監査について、地区代表者会議(Web 会議)に出席し、理事からの会務報告及び地区代表者からの意見を聴取しました。また、関係書類など必要と思われる資料の閲覧により業務執行の妥当性を検討し監査を実施しました。
- 2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧により会計報告書の正確性を検討し監査を実施しました。

2. 監査結果

【令和 4 年度会務】

1) 事務局について

(1) 組織の充実・関係協議会との連携

Web を利用した各地区会定期総会・研修会へ支部役員が出席され「関信支部からのお知らせ」を中心に情報伝達および情報収集が行われていました。常任理事会は主に Web 会議で開催され、関東信越グループ臨床検査専門職の出席を賜り情報共有が行われていました。今年度は新たに各地区会単位で理事を選出して地区会との連携を図る取り組みを行っていました。また、国臨協全国支部長会議(Web 会議)への出席、国臨協本部常任理事会へ活動報告書を提出し情報の共有化を図るなど関係協議会との協力・連携も行われていました。

(2) 事務管理の向上

年 3 回の会員調査を行い、支部ニュースおよびホームページを用いて定期的に情報提供をされていました。また会員調査については国臨協本部へ情報提供されていました。

(3) 文化活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度に引き続き合同交流会・ビアパーティーなどの行事が中止となりました。

2) 学術について

(1) 国臨協関信支部学会の開催

第 50 回関信支部記念学会は、「未来への跳躍～過去から学び未来へつなぐ～」をテーマとして多機能ブース型のイベントプラットフォーム「EventIn」を利用したライブ配信型で開催されました。28 題の一般演題、ランチョンセミナー(3 ブース)、特別講演、学術委員の超音波検査ライブデモンストラーションによる分科会、そして展示ブースなど、集合型の学会開催方法と遜色のない記念学会となっていま

した。スマートフォンからもアクセスできる環境が整えられており、より多くの会員が参加しやすくなるための配慮がされていました。

(2) 研修会の充実

学術委員会との連携がとられ、Web 形式オンデマンド配信による 3 回の研修会が開催され研修内容も工夫が見られました。

(3) その他

国立病院機構関東信越グループ主催研修会の令和 4 年度医療職(二)・福祉職キャリアアップ研修ではファシリテーターとして協力されていました。

3) 広報について

(1) 国臨協関信支部ニュース

紙媒体 4 回、PDF 版（人事異動）1 回が発行され、会員からの投稿記事掲載、情報発信等が行われていました。また、投稿や紹介などは若手技師を中心とした構成となっており親しみやすい紙面づくりへの工夫が見られました。

(2) 関信支部ホームページ

一部掲載が不十分だった情報も整えられて更新も適時行われていました。更新情報はそのつど施設連絡者宛にメール配信されホームページの認知度の向上に努めていました。また学会や研修会へのオンデマンド配信も整えられ、スマートフォンでの利用がしやすい環境も整備されていました。

4) その他

(1) 次年度以降の会務活動について

Web ツールも日々進化し様々な選択肢があるので費用対効果も含めて検討していただきたい。研修においては、内容や視聴環境の充実が図られているが参加者が伸びていないため研修が有効なものとなるよう参加者増加につながる対策をお願いしたい。理事の人数が増えた事もあり各理事が過度な負担を負う事のないような配慮をしていただきたい。

以上、令和 4 年度の会務活動状況は適正であり、理事の会務執行に関して不正な行為や規約違反などは無いことを認めます。

【令和 4 年度会計】

令和 4 年度会計に関する収入支出台帳をはじめ証拠書類・貯金通帳等については適正に執行され、令和 4 年度会計報告は関信支部の収支状況を正しく示しているものと認めます。

令和 5 年 4 月 12 日

監事

瀬下 明 

監事

小沼 進 